

## 概 要

### 1 取組

「藤北ドリカムノート」を活用したキャリア教育の推進

### 2 背景

多様で予測不可能な時代を生き抜くためには「学力」だけでなく、「主体的に行動する力」や「基礎的・汎用的な能力(思考力・判断力・表現力)」が必要であるとされ、将来、社会や人のために働く「志」を高校生段階で身につけておく必要がある。

### 3 目的

学習等における成長の変化を記録することにより、自分に取り組むべきことを理解し、自ら考え行動する主体的な態度を身につける。この主体的な態度を身につけるためには、自分で目標・計画を立て実行し、反省・改善することができる自己調整力の醸成が必要である。

### 4 生徒の心構え

- ・ 毎日の学校生活において、様々なことに真剣に挑戦し、成長を確認する
- ・ PDCAサイクルを大切に生活する【目標→実行→反省→改善】

### 5 特色

#### (1) 学校独自のルーブリック評価表の活用

基礎的・汎用的能力を4つの大項目と15の評価項目に分類した評価表を用い、どこまでできていて、さらにどこまでを目指すのかを確認できる。

#### (2) 定期的な担任面談を通じた意識継続の仕組み

- ・ 4月初期指導：進路希望、目標を記入→担任面談(5月)
- ・ 7月特別日課：1学期の成績等・反省・改善・目標を記入→3者面談(7月)
- ・ 12月特別日課：2学期成績等・反省・改善・目標を記入→担任面談(1月)
- ・ 3月特別日課：学年末成績等・反省・改善を記入→担任面談(新学年5月)

※担任は、生徒からの報告に助言し、PDCAサイクルの状況を確認する。

### 6 成果

生徒はドリカムノートを通して自分に合った進路や生き方について考え、見通しをもって生活できる。このため、学年を追うごとに学校に対する満足度が上がり「将来の進路や生き方について考えている」と答えた昨年度3年生は、95.5%である。

また、「学校生活が充実している」と答えた生徒が92.6%であったことからキャリア教育の取組が、高い学校満足度に反映されていると推察する。

**キャリア教育**

**文部科学大臣表彰  
を受賞！** 令和6年度

これからも、  
**社会の中で生きていくために  
必要な能力や態度を育てる**  
学校づくりを推進します。

